

日本学術振興会
炭素材料第117委員会
第290回委員会議事録（案）

1. 日 時 平成21年7月17日（金） 9：30～16：00
2. 場 所 東京都市大学 世田谷キャンパス 三号館メモリアルホールA
3. 出席者 46名 （順不同・敬称略）

委員 長： 寺井隆幸（東大）

主 査： 川口雅之（大阪電通大）、鏑木裕（東京都市大）、羽鳥浩章（産総研）

幹 事： 阿久沢昇（東京高専）、稲垣道夫（北大名誉） 吉田明（東京都市大）
榎敏明（東工大）、小林知洋（理研）

委 員： 岩下哲雄（産総研）、蛭谷玄太（コバレントマテリアル／代理：森）、
太田道也（群馬高専）、沖野不二雄（信州大）、尾崎純一（群馬大）、
小田廣和（関西大）、川野陽一（新日鐵化学／代理：水内和彦）、京
谷隆（東北大）、近藤純子（東洋炭素／代理：森下隆広）、金野英隆
（北大）、塩山洋（産総研）、柴田大受（原研機構）、新野仁（物材機
構）、杉浦勉（新日本製鐵）、園部直弘（クレハ／代理：村田浩一）、
戸田晋次郎（日本電極／代理：蒲雄一）、豊田昌宏（大分大）、林慎
治（新日鐵化学）、福田敏昭（東海カーボン／代理：味噌野伸司）、
藤本宏之（大阪ガス）、土屋広志（鉄道総研／代理：鈴木淳一）、原
田博文（日本カーボン／代理：柴田博史）

委員 外： 押田京一（長野高専）、木村脩七（東工大名誉）、鈴木弘茂（東工大名
誉）、中村和正（東工大）、西川恵子（千葉大学）、西澤節（元神戸製
鋼所）、菱山幸宥（東京都市大名誉）、宮嶋尚哉（山梨大学）、山田能
生（元産総研）

同伴者他： 岡井誠（日立材料研）、児玉昌也（産総研）、吉澤徳子（産総研）、棚池
修（産総研）、村松寛之（信州大）、島本太介（信州大）、平崎哲郎（東
海カーボン）、松尾吉晃（兵庫県立大）、糸井弘行（東北大）

4. 本委員会議事経過

寺井委員長司会の下に本委員会を開催した。

4. 1 前回議事録の承認

以下を訂正し、前回議事録（案）を承認した。

A 分科会議事録 8 行目 $\text{Ru}(\text{Bpy})_3^{2+} \rightarrow \text{Ru}(\text{bpy})_3^{2+}$

4. 2 第 117 委員会関係

(1) 委員長報告等

(a) 委員の異動等

i) 入退会関係

退会：昭和電工株式会社

ii) 所属等変更

日本カーボン株式会社 開発部部长 原田博文委員

(同 研究所所長より変更)

(b) 日独セミナーについて

- ・ 第一回日独セミナー（117 委員会とドイツ炭素学会との共催）は 6 月 22 日（月）～23 日（火）の二日間に渡って SGL Carbon 研究センター（Meitingen）で開催された。日本側出席者 16 名（学界 13 名、産業界 2 名、同伴者 1 名）、ドイツ側出席者約 40 名。日本側発表 10 件（学界 9 件、産業界 1 件）、ドイツ側発表 11 件（学界 5 件、産業界 6 件）
- ・ 第二回日独セミナーは 2010 年に日本で開催することを委員長間で確認済み
- ・ ドイツ側の希望は 9/18（土）に来日、9/20（月）～9/21（火）にセミナー開催
- ・ 実行委員会の設立について（開催場所選定、プログラム、歓迎行事、財政、連絡、広報 etc.）
- ・ 企業からのコントリビューションを促したい（研究内容に限らず、会社・製品紹介を中心に発表してもらう）

(c) J-PARC（大強度中性子実験施設）関係

第二回量子ビーム融合化研究領域専門委員会(JAEA 主催)が 7/28 日に開催され、117 委員会からは 6 名が参加予定である。

(d) 次回以降の予定について

H21 第 3 回（291 回） 9/18（金）[A,B,C] アルカディア市ヶ谷（私学会館）
(会場担当：寺井委員長)

H21 第 4 回（292 回） 11/19（木）特別講演会 主婦会館プラザエフ
(合同開催：炭素材料学会 60 周年記念式典)
11/20（金）[B,C,D,A] 産総研臨海副都心センター

(会場担当：羽鳥主査)

(2) 分科会報告

- (117-290-C1) 等方性黒鉛材料とガラス状炭素の高温物性
○岩下哲雄 (産業技術総合研究所)
- (117-290-C2) 無煙炭の黒鉛化, ラマンスペクトルによる検討 II---易黒鉛化炭素のラマンスペクトルにおける黒鉛化挙動
○菱山幸宥¹、吉田明²、鐙木裕³ (東京都市大名誉教授¹、東京都市大総合研究所機器分析室²、東京都市大工学部³)
- (117-290-C3) 熱 CVD 法によるサファイア基板上へのグラフェン成長
○岡井誠^{1,2}、廣岡誠之¹、徳本久美子²、京谷隆²、平家誠嗣³、橋詰富博³ (日立材料研¹、東北大多元研²、日立基礎研³)
- (117-290-A1) 合成法の異なる 2 種類の Si/C/O コンポジットのリチウムイオン挿入脱離特性
齊藤翔太、笠嶋貴、伏見公志、○金野英隆 (北海道大学大学院光学研究科)
- (117-290-A2) 窒素ドーピングしたゼオライト鋳型炭素の合成と水蒸気吸着特性
○糸井弘行、侯鵬翔、李莉香、西原洋知、京谷隆 (東北大学多元物質科学研究所)
- (117-290-B1) Fullerenes-Peapods から合成した 2 層カーボンナノチューブの物性解析
○村松寛之¹、林卓哉²、金隆岩²、島本太介²、遠藤守信^{1,2}、Mauricio Terrones³、Menunier Vincent⁴、Mildred S. Dresselhaus⁵ (信州大学工学部¹、信州大学カーボン科学研究所²、IPICYT³、Oak Ridge National Laboratory⁴、MIT⁵)
- (117-290-B2) 高温熱処理によるカーボンナノチューブの融合と光学特性
○島本太介¹、村松寛之²、金隆岩¹、林卓哉¹、遠藤守信^{1,2} (信州大学工学部¹、信州大学カーボン科学研究所)
- (117-290-B3) 炭素網面内の原子間距離のデータベース化と Debye の散乱強度式を用いた黒鉛の理論強度の計算
○藤本宏之 (大阪ガス)

4. 3 報告事項

(1) 炭素材料学会関係

- (a) 学会関係：京谷委員 (運営委員長) より以下の報告があった。

- 6/5 に電気二重層キャパシタをテーマとした先端技術講習会が京都で行われ、盛況であった。
- 9/4 にグラフェンをテーマとしたスキルアップセミナーが開催される。
- 年会在 12/1-3 に行われるが、委託先が変わっているのである程度の混乱が予想される。講演申し込み締め切りは 7/31。

(b) 炭素誌関係：鎚木幹事（編集委員長）より以下の報告があった。

- 著作権の管理、特に委譲手続きを厳密にする予定である。
- 実験技術講座が 30 件を越えたので、出版を考えている。
- 海外からの検索対応として JST の J-Stage へ参加する。

(c) その他

- 豊田委員より 9/3-5 に大分県湯布院町で開催される第 47 回炭素材料夏季セミナーについて紹介があった。

(2) 国際会議関係

羽鳥主査より下記会議の告知があった

- 1st Asian Carbon Conference (2009.11.25-27, Deli)
- Carbon2010 (2010.7 Clemson University)

松尾氏より下記会議の告知があった。

- 日本—トルコ炭素シンポジウム (2010.3.18-19 Istanbul)

(3) ラマン分光標準化について

吉田特任幹事より室温（環境）の変化がラマンスペクトルに与える影響について紹介があった。

(4) 特別シンポジウムについて

阿久沢幹事より、平成 21 年度特別シンポジウムは 11 月 19 日に炭素材料学会の 60 周年記念式典と合同開催される旨報告があった。特別シンポジウムは午前中に計画され、羽鳥主査と京谷委員が講演予定である。

(以上)